八王子市橋守計画（概要版）

八王子市道路交通部

令和４年８月

１．はじめに

八王子市の管理する橋梁は、全国的な傾向と違わず高度経済成長期に建設された橋梁が多く、また、ニュータウン整備に伴い建設された橋梁も多く存在しており、従来通りの場当たり的な対応を続けた場合、更新時期がある一時期に集中し、対応が困難となることが十分予想されています。

そのような予算制約下においても、安心で安全な道路サービスを提供することは不可欠であり、如何に効果的・効率的に「持続可能な社会資本」を確保していくかということが、現時点における重要課題となっています。橋梁を効率的に更新・維持管理を実施していくためには、従来の場当たり的な対応（対症療法型維持管理）から、計画的に補修工事を実施していく長寿命化型維持管理（予防保全）へと転換していくことが必要です。

そのため、八王子市では平成２０年度から橋梁点検を実施してその損傷状況を把握した上で、平成２２年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、安全・安心な道路サービスの提供、コスト縮減の実現、予算の平準化を図るための維持管理を進めてきました。

その後、「道路橋定期点検要領　平成２６年６月　国土交通省道路局」が策定され、平成２６年７月より道路管理者は、すべての橋梁について、５年に１度、近接目視で点検を行い、健全度を４段階で診断することになりました。

そのような状況を踏まえ、平成２６年度から新たに近接点検を実施し、平成３０年度までの５年間で管理橋梁の点検を完了させたうえで、その結果を反映した長寿命化計画を策定しました。

２．長寿命化修繕計画の目的

～安全・安心な市民生活の確保のために～

誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりのため、以下の課題への対応が今後さらに重要となります。

①安全・安心な市民生活の確保

☞橋梁の老朽化、自然災害に伴う市民の不安解消

②計画的な改良整備

☞対症療法型の対応から、早期に適切な対応を施す“予防保全型”への転換

③快適な歩行空間の創出

☞快適で周辺と調和した空間づくり

④橋梁機能の永続的維持

☞橋梁の点検・適切な管理による資産の永続的な維持

厳しい財政状況の中で、市民の安全を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めていくなど、上記のような課題に対応していくためには、橋梁の現状や将来の維持管理経費を把握しコスト縮減や計画的修繕を実施していくアセットマネジメントを導入した事業展開が必要です。

そのような背景の中、八王子市では、橋梁アセットマネジメントの基となる「八王子市橋梁長寿命化修繕計画」を平成 20 年度より３ヵ年で策定し、今後費用が増大する橋梁維持管理について、計画的な修繕を効率的に行っていくこととしました。

３．長寿命化計画の見直し

H26 年度以降、近接点検を実施し、一部長寿命化修繕計画の見直しを行いました。以前の長寿命化計画から見直した内容は以下の通りです。

① 平成 26 年６月の定期点検義務付けにより、点検を実施して要対策（Ⅲ早期措置段階、Ⅳ緊急措置段階）となるものについては、速やかに補修を実施する必要があることから、長寿命化計画で「更新前提型（細かな補修は行わず、更新時期が来たら更新（架替）する」として整理していたものを削除しました。

② 平成 26 年度からは「道路橋の老朽化対策の本格実施に関する提言」を受けた方針に準じて、1)国が定める統一的な基準を取り入れた点検、2)遠望目視が基本であったものを、近接目視へ変更、3)５年に１度の点検実施、に変更しました。

③ 最新の点検結果を受けて、時点修正を行いました。

④ 新技術等の活用を検討した費用の縮減、事業の効率化についての取り組みを記載しました。

４．八王子市の管理する橋梁

(1)概要

○八王子市が管理する橋梁は、748 橋（平成 31 年３月現在）。

○橋長 15m未満の比較的短い橋梁が、約 61％を占める。

○橋種別では、PC橋 252 橋（33%）、RC橋 215 橋（29%）、ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ 125 橋（17%）、と、コンクリート橋が８割を占める。

○竣工年次別では、高度経済成長期（1955 年頃～1973 年頃）、およびそれ以降 2000 年頃までに建設された橋梁が多く、特に多摩ニュータウン(東部地域)の整備に伴い 1980 年代に橋梁が多く建設されている。

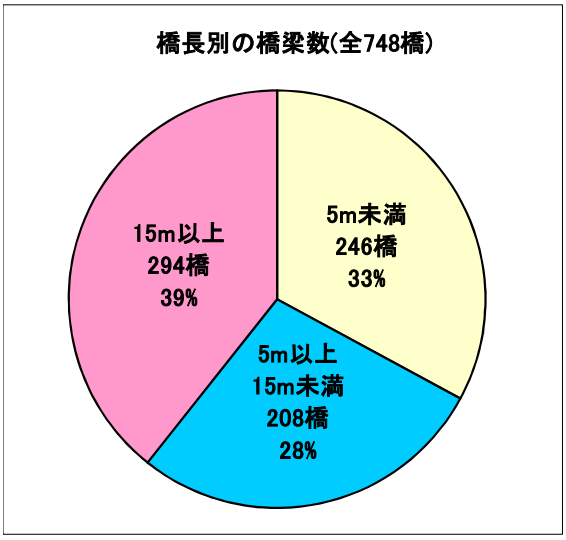


図-4.1　橋長別の橋梁数（全 748 橋）

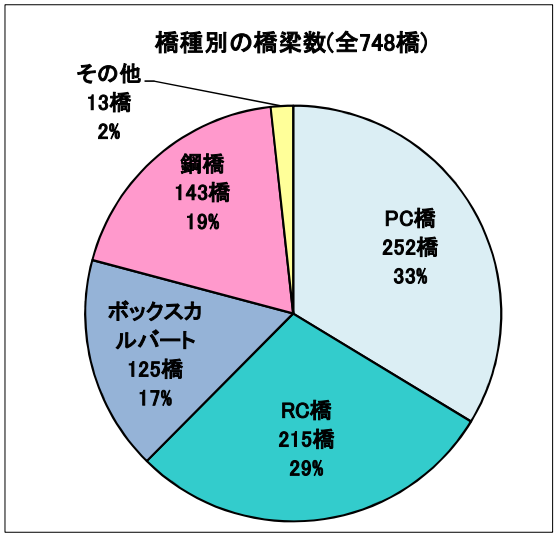


図-4.2　橋種別の橋梁数（全 748 橋）

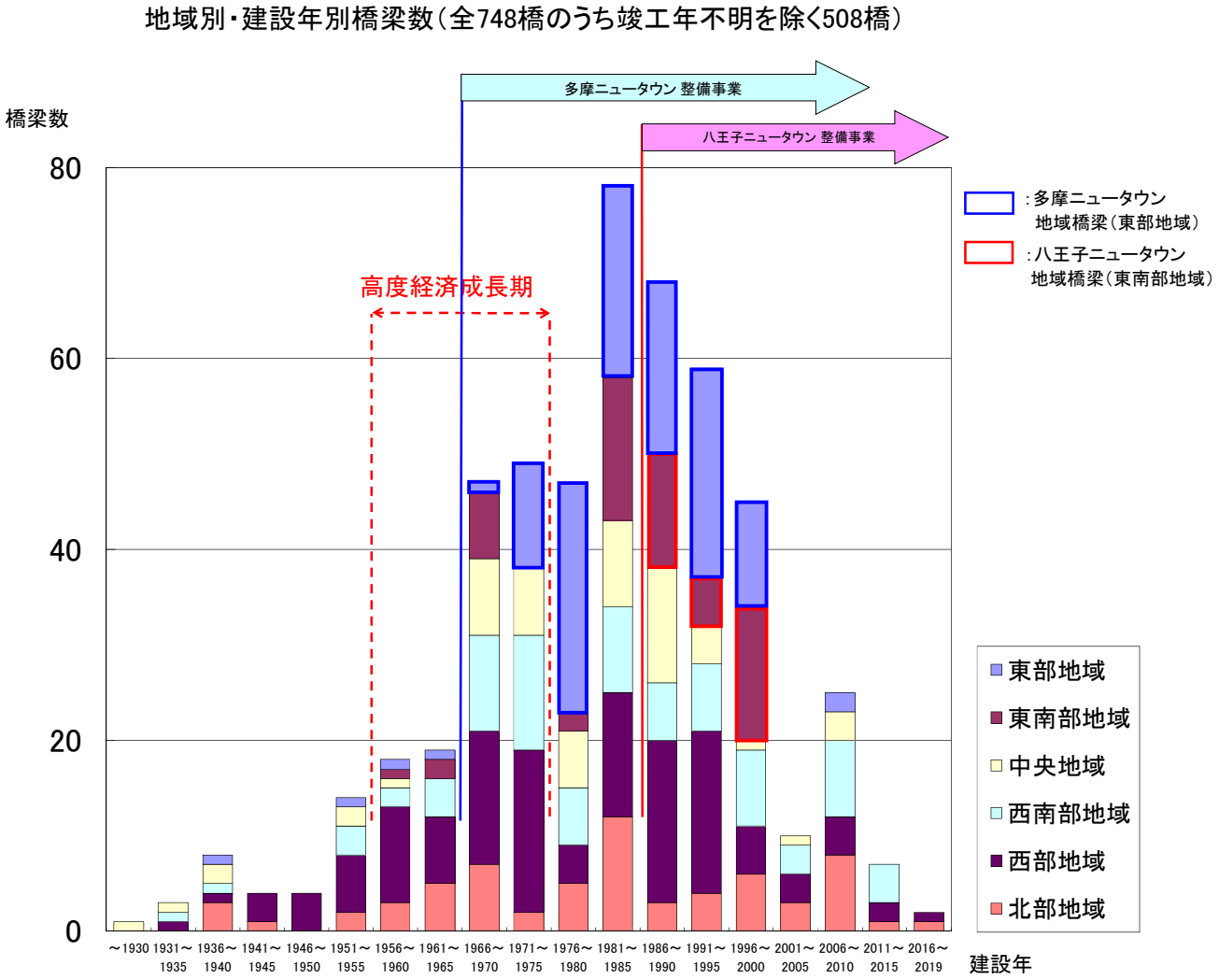


図-4.3　地域別・建設年別の橋梁数（建設年の判明した 508 橋）

⑵ 橋齢の変遷

八王子市の全管理橋梁 748 橋について見た場合、建設後 50 年以上を経過した橋梁は、現在（2019 年度）は 22%ですが、15 年後には 53%、30 年後には 90%と急激に橋の高齢化が進むことになります。

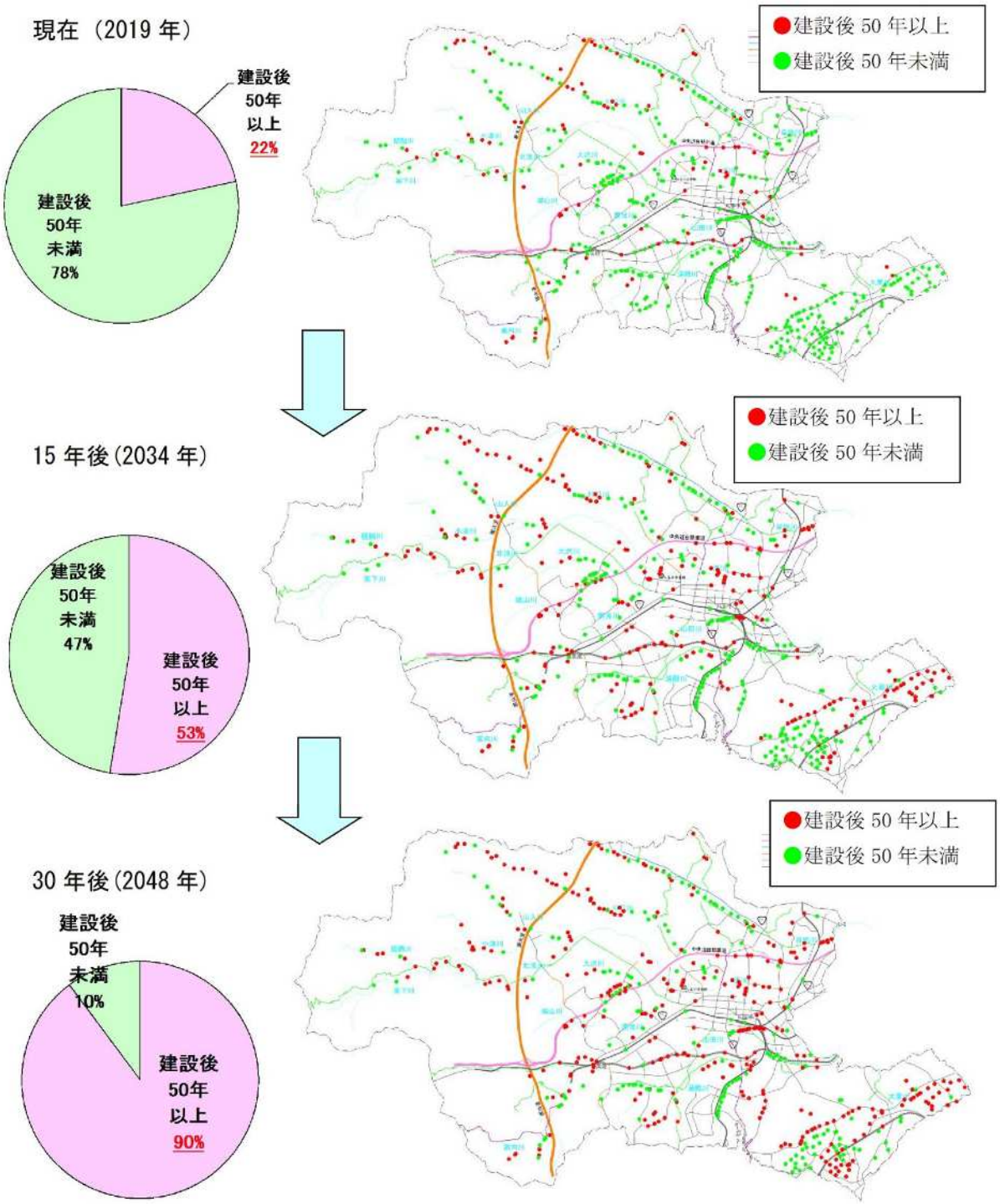


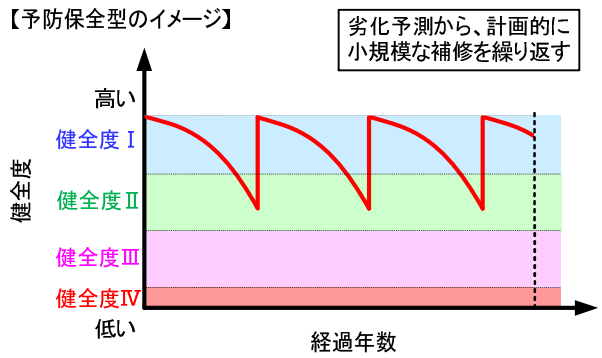
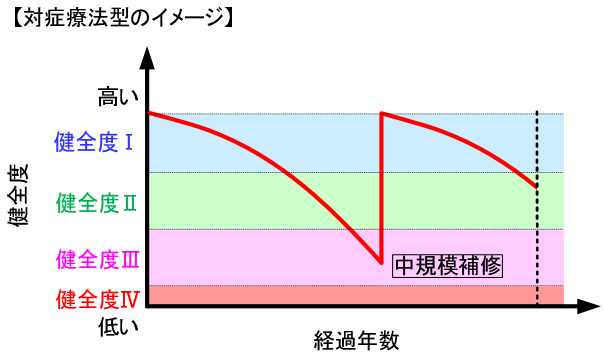
図-4.4　建設 50 年を経過した橋梁の推移

５．長寿命化修繕計画対象橋梁

(1)管理区分

八王子市の管理橋梁 748 橋には、小規模なボックスカルバートから橋長 200m近くの橋梁まで幅広く、交差条件（跨道橋、跨線橋）も様々です。それらを効率的に管理していくためには、単一の管理基準で維持管理することは非効率です。全体を２つの管理基準に区分し、各橋梁が有する特性に応じたグルーピングを行い、それに応じた管理をしていくのが効率的となります。

表-5.1　管理基準のイメージ

維持管理手法	管理方法及び点検内容	イメージ
①予防保全型長寿命化修繕計画対象橋梁	損傷程度が軽微な段階で繰り返し補修を行い、常に一定の健全度を保持する維持管理（補修）方法。	
②対症療法型	損傷程度が補修すべき段階になった時点で補修を実施する維持管理（補修）方法。橋梁の損傷状況を診ながら必要に応じて架替える。	

⑵管理区分・重要度・管理基準値の設定

各橋梁の管理区分と該当橋梁数を表-5.2 に示します。

①予防保全型：損傷が顕著化する前に予防的修繕を実施するもの

橋長 15m以上の橋梁については、緊急時の緊急時の通行止め期間・点検時間、架け替え時のコストの大きさ、社会的損失などが甚大であるため、管理基準を高く設定し、予防保全型とする。また、橋長 5m 以上 15m 未満の橋梁のうち、跨道橋・跨線橋、緊急輸送道路に該当する橋梁については、予防保全型とする。

②対症療法型：損傷が顕著化した後に対策を実施するもの

橋長 15m未満の小規模な橋梁については、維持管理や架け替えを想定すると、点検が容易であり、新工法等により架け替えの費用や工事規制期間も比較的少なく済むため、点検結果を基に、必要に応じて補修を行う対症療法型とする。

表-5.2　管理区分と重要度、管理基準値の設定

			高 ← 重要度 → 低			
			跨線橋・跨道橋	跨線橋・跨道橋以外		
				緊急輸送道路	緊急輸送道路以外	
					迂回路無し	迂回路有り
高 ← 管理区分 → 低	橋長15m以上 全294橋	橋梁 (ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ)	①予防保全型 134 (0橋)	①予防保全型 3 (0橋)	①予防保全型 10 (0橋)	①予防保全型 147 (0橋)
	橋長5m以上 15m未満 全208橋	橋梁 (ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ)	①予防保全型 18 (6橋)	①予防保全型 0 (0橋)	②対症療法型 38 (2橋)	②対症療法型 152 (24橋)
	橋長5m未満 全246橋	橋梁 (ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ)	②対症療法型 1 (1橋)	②対症療法型 0 (0橋)	②対症療法型 23 (4橋)	②対症療法型 222 (90橋)

※)橋長 15m 以上とは、小数点以下第一位を四捨五入すると 15m となる 14.5m以上の橋梁を示す。

※)左側の欄に含まれた橋梁は、その右欄には含めていない（重複していない)。

※）（）内はそのうちボックスカルバートの数を示す。

６．橋梁点検の状況と長寿命化対象橋梁

(1)点検実施橋梁数と点検結果

八王子市の管理橋梁年度ごとの点検橋梁数を以下に示します。

表-6.1 点検実施橋梁数

年度	委託点検	協定点検 （跨線橋、中央道）	直営点検	合計
平成 26 年度	29 橋	0 橋	0 橋	29 橋
平成 27 年度	70 橋	9.5 橋	43 橋	122.5 橋
平成 28 年度	86 橋	10.5 橋	98 橋	194.5 橋
平成 29 年度	89 橋	7 橋	91 橋	186 橋
平成 30 年度	130 橋	9 橋	77 橋	216 橋
合計	404 橋	36 橋	308 橋	748 橋

※委託点検、直営点検と、協定点検が重複しているもの（橋面が委託点検 or 直営点検で、橋下は鉄道管理者 or　NEXCO が実施した場合など）は、協定点検で計上した。

※2 回に分けて点検を行っている橋梁については 0.5 回/年で計上

(2)八王子市管理橋梁における損傷の特徴

これまでに行われた橋梁点検結果から、八王子市の橋梁における損傷の特徴を以下に記す。

◆通行車両規模は、国道、都道に比べて比較的小さいこと、大型車走行台数が多くはないことから車両荷重が原因である損傷（亀裂、破断、ひびわれ、沓座回りの損傷、など）は少ない。よって、桁、床版、下部構造に生じているひびわれについては、乾燥収縮、かぶり不足が主たる要因であり、その進行性は比較的緩やかであると言える。

◆人目につきにくい比較的山間部の橋梁で、塗装塗り替えが行われていないために防食機能の劣化が進んでいる橋梁もいくつか見られる。

ピン番号 223：板当橋

◆伸縮装置からの漏水により橋座への漏水・滞水が見られ、それに伴い桁端部の鋼部材に腐食が発生している橋梁が見られる。

◆縁石などのプレキャストコンクリート製品に、凍結融解によるひびわれが散見されるものが多い。

ピン番号 99204：日向橋

◆木床版を用いた鋼橋などでは、床版部分からやむを得ず、漏水するため、桁が腐食の進行が著しいものが多い（谷開橋、とろろ橋）。

ピン番号 59：谷開橋

◆川に架かる橋梁の多くでは、橋台パラペットに対して相対的に背面（土工部）が沈下しており、段差（２、３センチ）のものが多く見られる。

◆市街地近くでは、不法占拠、落書きなどが多く、焚き火による焦げ跡などがいくつかの橋梁で見られる。

ピン番号 14：大竹橋

◆PC 橋で、支承が鋼製支承の場合に、鋼橋と違い桁の再塗装に合わせて再塗装という機会がないため、再塗装がなされず、腐食が進行しているものがある（大塚橋、浅川大橋）。

ピン番号 172：大塚橋

◆NEXCO の跨道橋については、跨道部は連続繊維シート接着による剥落防止対策が実施済である。ＪＲ、京王電鉄についても、剥落対策が進行中である。

◆再塗装後の再劣化が生じている橋梁がいくつかある（白山橋、多くの横断歩道橋）。いずれも狭隘部のケレンが困難な場所で発生しており、再塗装時に十分なケレンをせずに（できずに）塗装をしたものと思われる。長寿命化のためには、スペースの改良、１種ケレンの実施、耐久性の高い金属溶射などを検討する必要がある。

ピン番号 36：白山橋（H24 に再塗装、本写真は H26 に撮影）

ピン番号 99983：市立老人ホーム歩道橋（H23 に再塗装、本写真は H30 に撮影）

◆横断歩道橋では、そのほとんどで衝突跡が確認される。

ピン番号 99983：市立老人ホーム歩道橋

◆多くの横断歩道橋の階段で、蹴上部および地覆部の板に孔食が発生している。

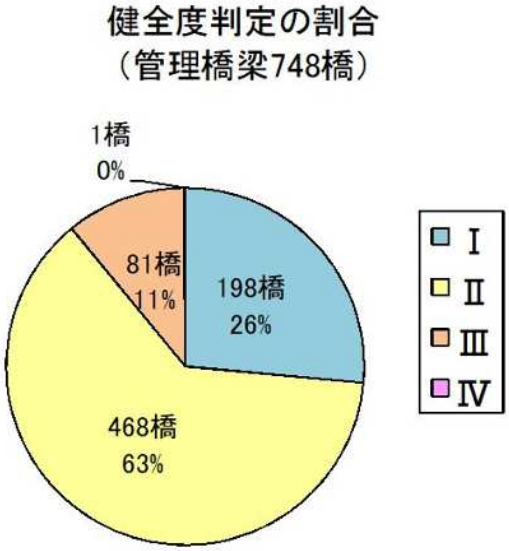
ピン番号 99991：八王子市長房町歩道橋

ピン番号 99981：市立大和田小学校歩道橋

⑶健全度判定結果

1）全体

- 全管理橋梁 748 橋のうち、速やかに補修等を行う必要があると判断された対策区分Ⅲや対策区分Ⅳの橋梁は 11％（81 橋；Ⅲ、１橋:Ⅳ）であった。
- 予防保全段階（道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）と判断された対策区分Ⅱの橋梁が全体の 63%を占めている。

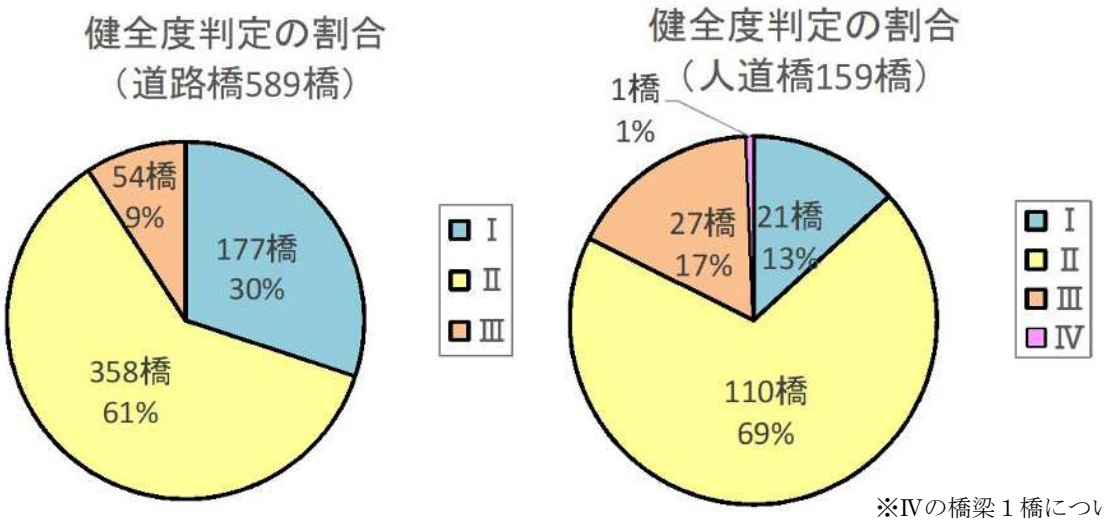


※Ⅳの橋梁１橋については木橋であり、
現在、閉鎖管理を行っている。

図-6.1　健全度判定の割合

2）道路橋・人道橋ごとの割合

道路橋・人道橋に分けた場合の判定区分を以下に示す。道路橋については、全体の傾向とほぼ同じであるのに対し、人道橋は判定区分Ⅲの傾向がやや大きくなっている。人道橋には横断歩道橋が含まれており、横断歩道橋の塗装の再劣化（腐食の進行）、基部の腐食、階段の腐食などの影響であると考えられる。



※Ⅳの橋梁１橋については木橋であり、
現在、閉鎖管理を行っている。

図-6.2　健全度判定の割合（道路橋・人道橋）

3) 建設年別の割合

■ 建設年が 1950 年代～1970 年代に建設された橋梁梁（供用年数が 40～70 年程度）では 20%近くの橋梁が、早期に措置を講ずべきと判断される**対策区分Ⅲ**である。

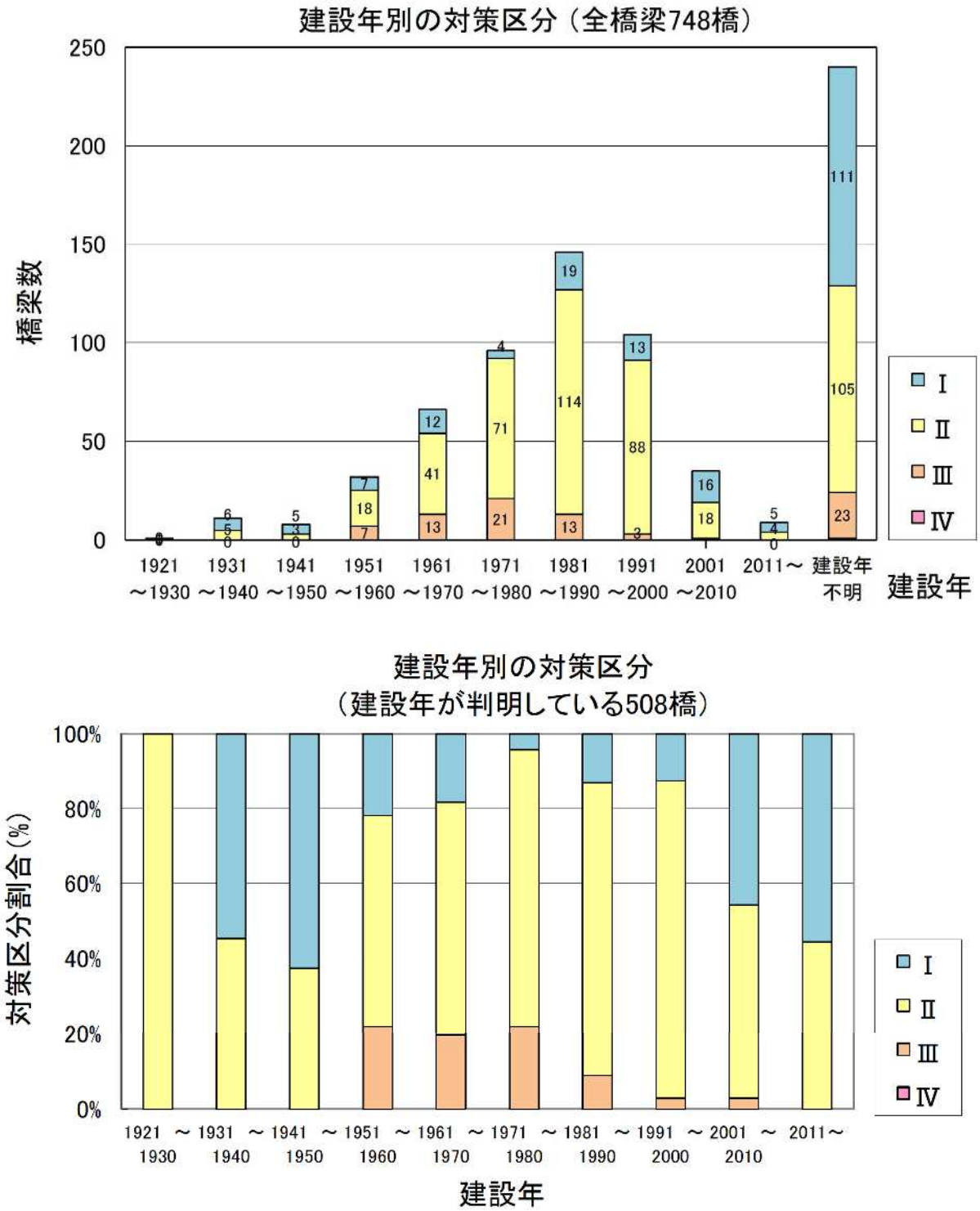


図-6.3　建設年別の対策区分

4)対策内容

平成 26 年度から令和３年度までの点検結果に対する主な対策として、対策区分Ⅲの橋梁について以下の対策を行いました。

◆ 鋼桁 高耐久性塗装塗替（Rc 系塗装）

◆ コンクリート床版 断面修復、中性化防止対策

◆ コンクリート桁 断面修復、中性化防止対策

◆ 橋面 舗装（耐摩耗性薄層舗装材）

⑸長寿命化計画対象橋梁

5.⑵で設定した予防保全型橋梁（長寿命化修繕計画対象橋梁　312 橋）を以下に示す。

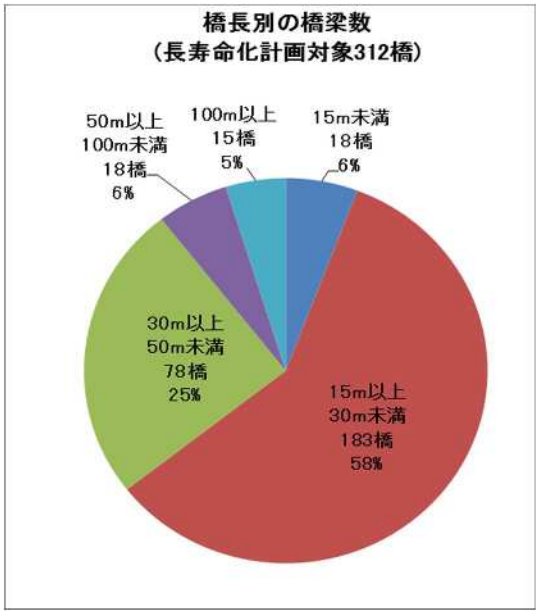


図-6.4　橋長別の橋梁数（312 橋）

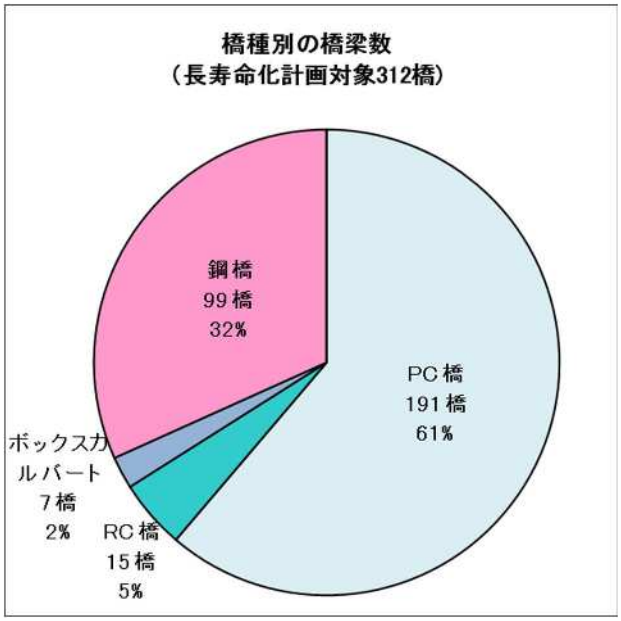


図-6.5　構造形式別の橋梁数（312 橋）

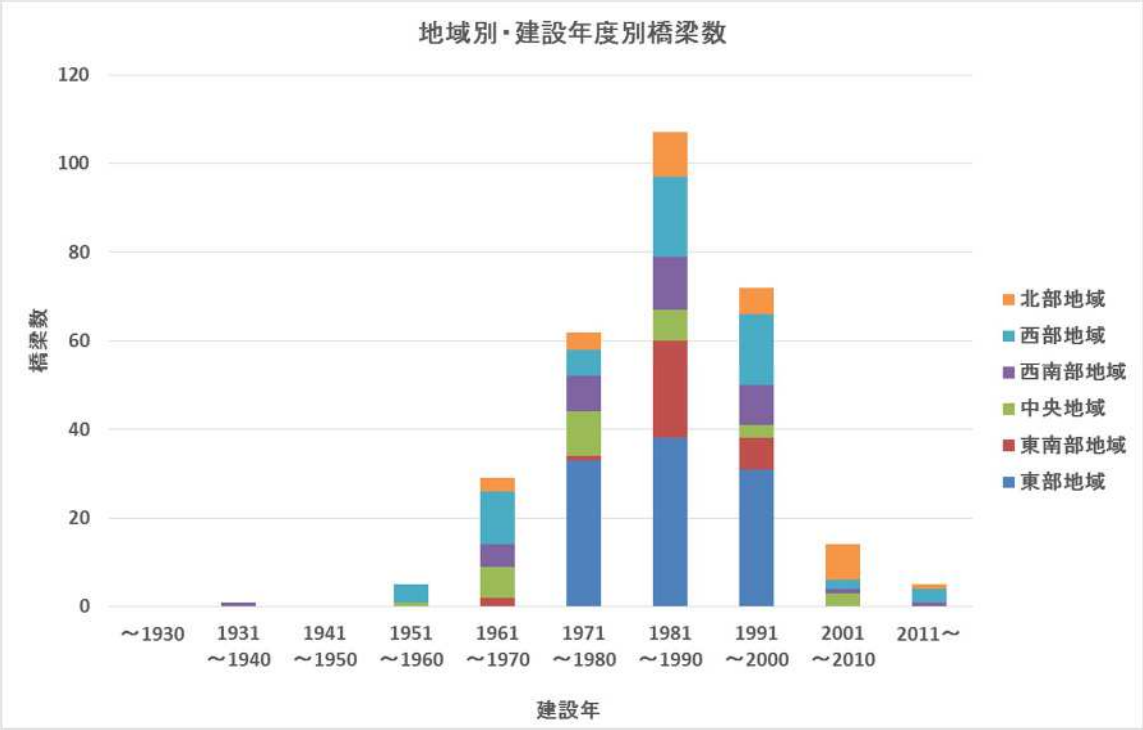


図-6.6　地域別・建設年度別橋梁数（312 橋）

7．長寿命化修繕計画の効果

(1)予防保全型維持管理と対症療法型維持管理

長寿命化対象橋梁 312 橋について、予防保全型維持管理と対症療法型維持管理を行った場合のそれぞれについて、試算を行いました。

計算は、点検結果から把握した健全度、更新のサイクル、部材の劣化機構、劣化曲線等を用いて試算したものです。

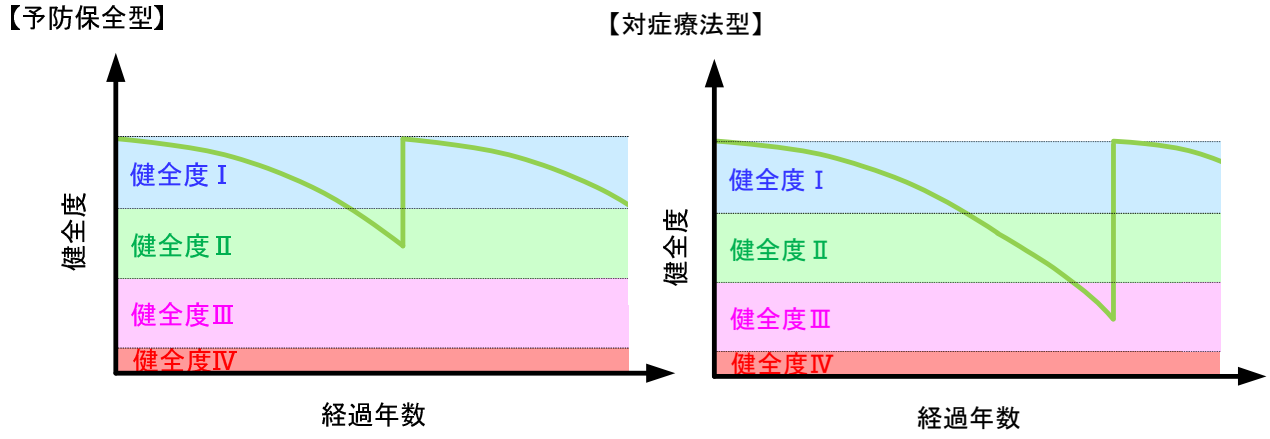


図-7.1　予防保全型と対症療法型の対策レベル

(2)予防保全型維持管理の効果

図-7.2 は、予防保全型と対症療法型の試算結果です。312 橋の今後 100 年間の維持管理費用は、

予防保全型：21,446 百万円(25%)

対症療法型：85,123 百万円(100%)

であり、予防保全型維持管理を行った場合、対症療法型に比べて、コスト縮減額は、63,677 百万円（75%）となります。

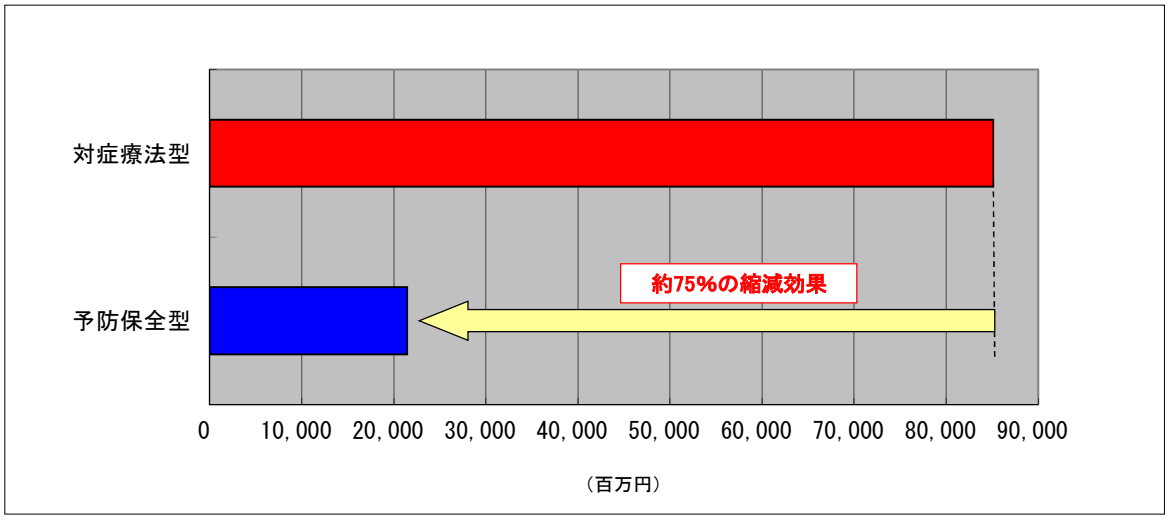


図-7.2 予防対策と事後対策の将来費用の推定（今後 100 年間）

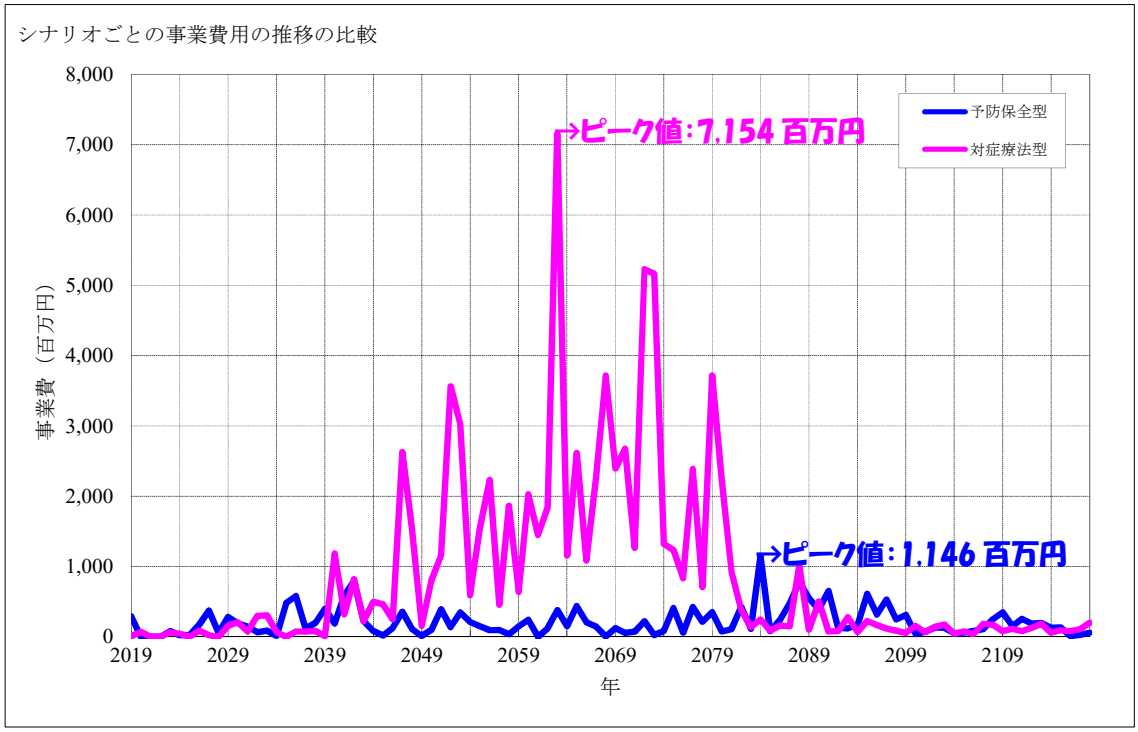


図-7.3　各シナリオの年度ごとの事業費

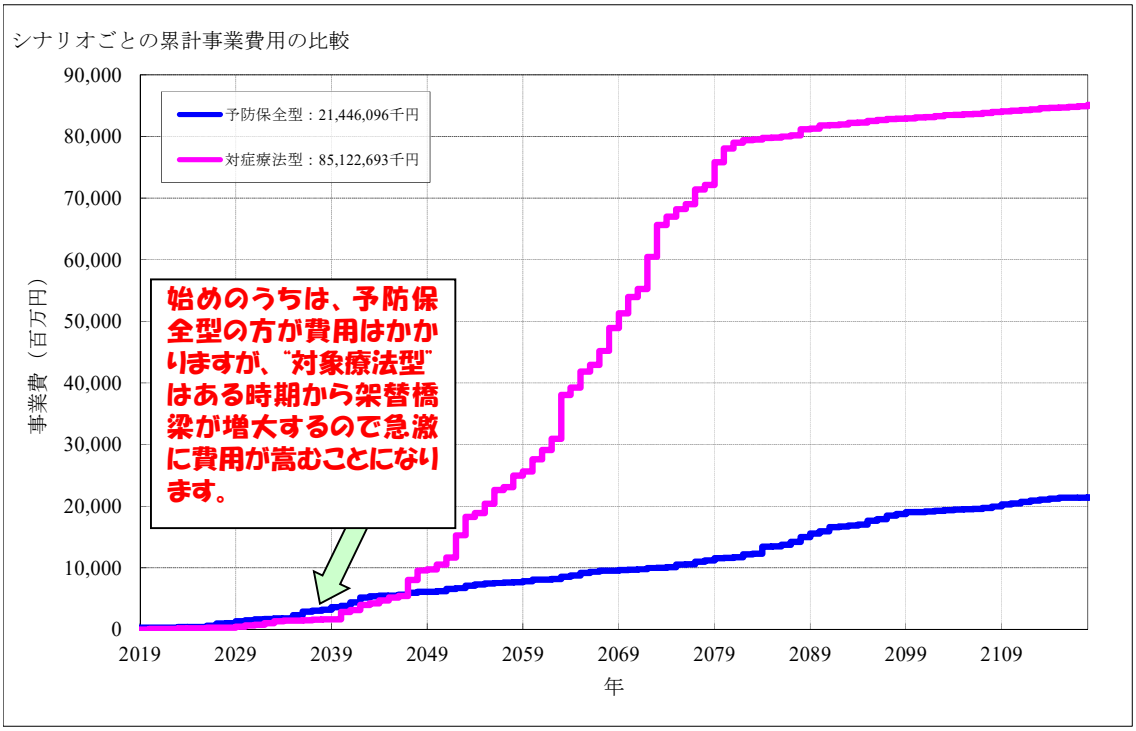


図-7.4　各シナリオの累積費用

図－7.3 は、橋梁毎に必要な年に必要な対策を行うとして算出したものであり、予防保全型であっても対策費用が発生しない年もあれば、最大で 11 億円／年程度も必要な年も発生するため、予防保全型（グラフ青色線）についても平準化を行うことが必要です。

(3) 予算の平準化（中長期計画）

① 「予算額 2.0 億円/年」の試算結果

橋梁維持費 2.0 億円（点検費：1.0 億円/年、詳細設計費：0.1 億円/年、対症療法型費用：0.3 億円/年を含む）で今後 100 年間の維持管理を行った場合の試算結果は図-7.5 の通りです。2.0 億円/年で 100 年間の維持管理を行った場合には、部材の劣化に対して補修が追いつかず、右肩上がりで健全度の低い部材が増えていくことになります。また、部材の平均健全度は、どんどん降下していき、“手を加えたいができない部材”が増えていくことになります。したがって今後 100 年間の予算を一定とする場合には、2.0 億円／年では不十分です。

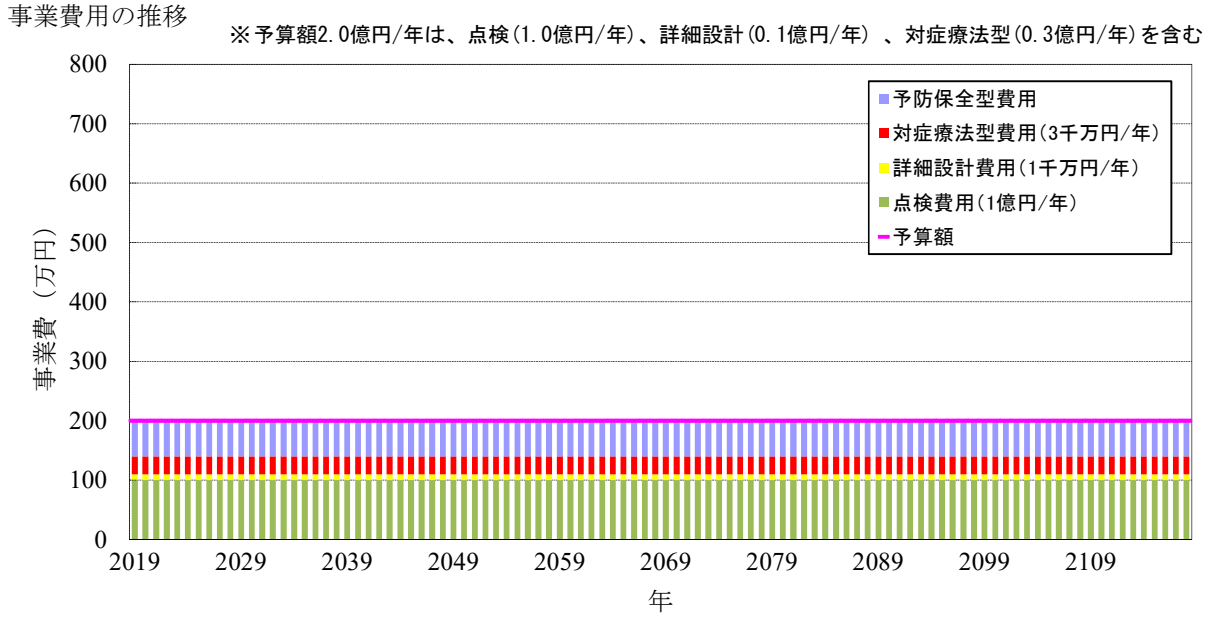


図-7.5　事業費用の推移（「予算額 2.0 億円/年」）

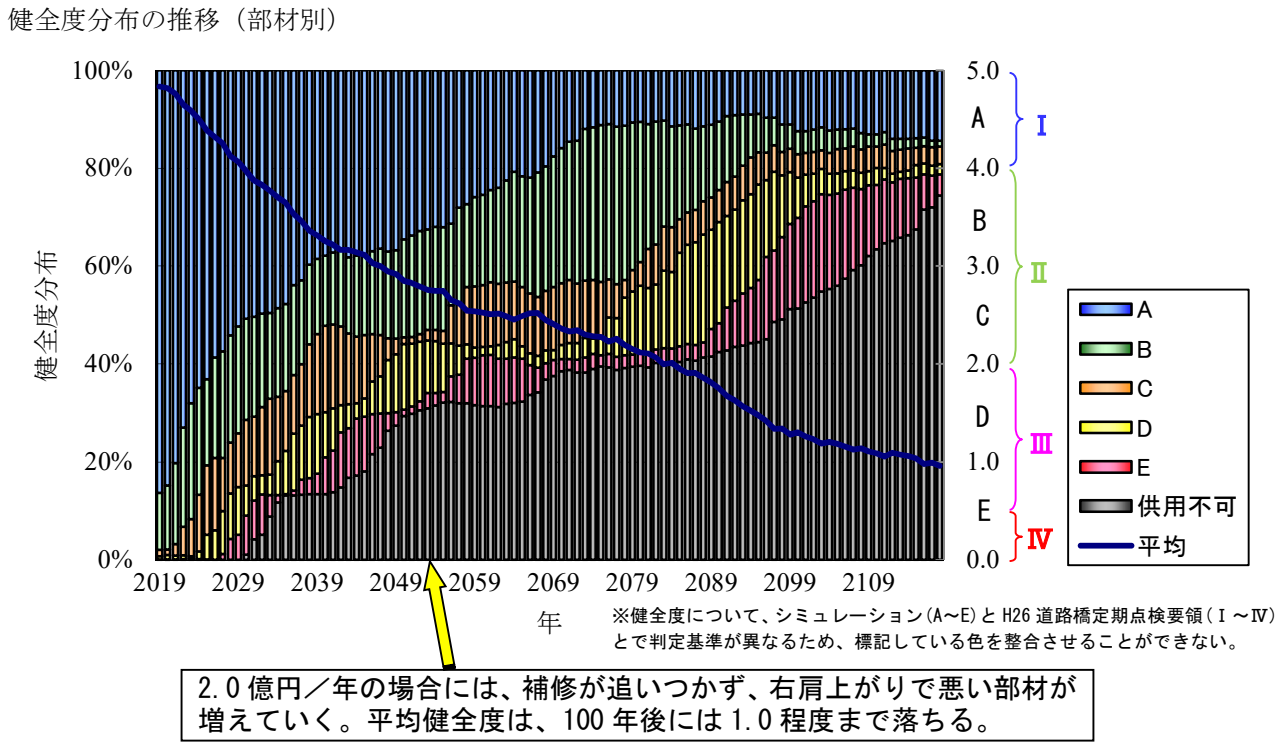
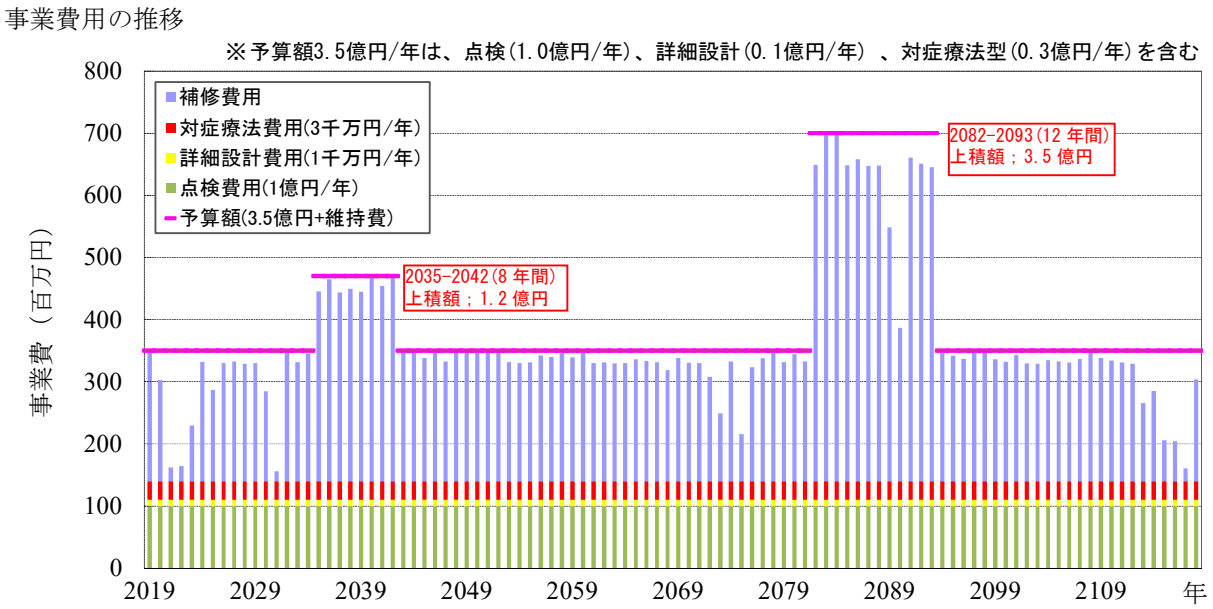


図-7.6　健全度の分布（「予算額 2.0 億円/年」）

② 「予算額 3.5 億円/年＋健全度維持に必要な費用」のシナリオ

①の結果を踏まえ、年間費用を 3.5 億円／年に増加し、かつ、補修が集中する時期のみ必要予算を上積みする措置をとった場合、上積み費用として、2035 年～2042 年に約 1.2 億円、2082 年～2093 年に約 3.5 億円を考慮すれば、供用不可部材は発生せず、平均健全度も十分に保たれることとなります。



※事業費の上限値

2035 年～2042 年：2.1 億円＋1.0 億円＋0.1 億円+0.3 億円＋1.2 億円 ＝4.7 億円

2082 年～2093 年：2.1 億円＋1.0 億円＋0.1 億円+0.3 億円＋3.5 億円 ＝7.0 億円

図-7.7　事業費用の推移（「予算額 3.5 億円/年＋健全度維持に必要な費用」）

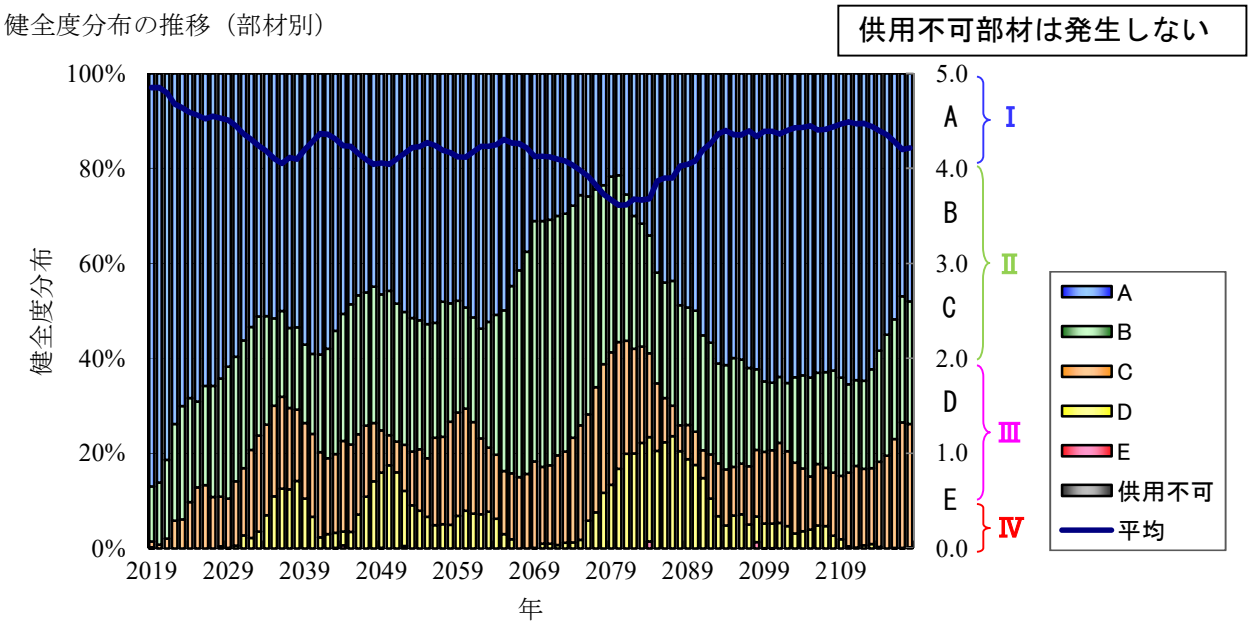


図-7.8　健全度の分布（「予算額 3.5 億円/年＋健全度維持に必要な費用」）

８．直営点検の実施

市が管理する約 750 橋の橋梁のうち比較的小規模な橋梁約４０％において、道路橋点検士などの資格を取得し、直営点検を実施することにより 1 サイクルにつき約７５百万円のコスト縮減効果を図っている。

９．新技術の活用

令和２年度以降の定期点検からすべての橋梁で新技術の活用の検討を行う。

特に、高所作業車を使用する桁下高６m以下のコンクリート橋（全体の約５％）については、新技術の活用を重点的に検討し、令和９年度までの５年間で１．２百万円のコスト縮減を目指す。

修繕工事においても、すべての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行う。

特にコンクリート造の橋梁（全体の約８割）については、コスト縮減が図れる有効的な新技術は積極的に採用する。

現在、床版点検車を活用した非破壊検査は導入済みであり、今後、ドローンを補完的に活用した施設点検等の効率化や鋼材の破断状況を非破壊で調査する技術導入については、実施する予定である。

しかし、作業の効率化や経費縮減効果については検証を行っていないことから、実績を踏まえながら行っていく。

１０．フォローアップ

定期点検により健全度Ⅲ以上の橋梁については、次回点検までに修繕を行う必要があることから、優先的に行っていく。その場合、修繕計画の適宜見直し（フォローアップ）を行い対応する。また、修繕の進捗を踏まえ５年毎に修繕計画の見直しを行う。

１１．今後の取り組み

迂回路が存在し集約が可能、または利用実態により撤去が可能な橋梁、横断歩道橋については、令和３年度までに２橋の撤去を行った。今後、令和１０年度までに２橋程度の集約化、撤去を検討し、維持管理コストを９０百万円程度縮減することを目指す。

１２．修繕計画（短期計画）

先に検討したシミュレーション結果及び点検結果から、補修計画を立案する。

計画にあたっては、数年間にわたる点検結果を踏まえ、以下の方針で設定した。

・直営点検、委託点検結果を踏まえて、健全度Ⅲと判定された橋梁について、これまでの実績を踏まえた修繕費用を用いて、すでにある工事計画に合わせて、比較的早い段階（Ｈ３１～）で実施することとした。

・シミュレーション結果から得られる補修必要時期と、現地の劣化状況を踏まえ、対策区分Ⅱであっても補修を行うべき橋梁については、補修計画に反映した。

以上

予防保全計画（点検結果によるもの）

【判定Ⅲ以上対応表＋シミュレーション結果】

NO	ピン番号	橋梁名	長寿命化対象	法定内	点検年度	総合判定	修繕工事											修繕費用										判定理由
							完了	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
1	4	時見橋	○	○	H26	Ⅰ				○										7,000								伸縮装置取替
2	5	東めじろ橋	○	○	H28	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
3	6	めじろ橋	○	○	H27	Ⅲ																						床版鉄筋露出　H28～H30工事
4	7	西めじろ台橋	○	○	H28	Ⅱ				○										20,000								伸縮装置取替
5	12	八方地橋	○	○	H26	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
6	13	新権水橋	○	○	H26	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
7	14	大竹橋	○	○	H26	Ⅲ	○			○										18,000								火の影響、塗装劣化　H30対応済み　段差解消、伸縮装置取替
8	15	滝原大橋	○	○	H26	Ⅱ				○										10,000								伸縮装置取替
9	17	上横川橋	○	○	H26	Ⅱ				○										6,000								伸縮装置取替
10	18	滝原新橋	○	○	H27	Ⅱ				○										18,000								伸縮装置取替
11	19	恵橋	○	○	H26	Ⅱ				○										7,000								伸縮装置取替
12	20	五反田橋	○	○	H26	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
13	21	松竹橋	○	○	H26	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
14	23	西大沢橋	○	○	H26	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
15	24	大沢橋	○	○	H26	Ⅲ												3,000										主桁鉄筋露出　H30予算
16	26	紙谷橋	○	○	H27	Ⅱ				○										8,000								伸縮装置取替
17	27	元木橋	○	○	H27	Ⅱ					○										18,000							伸縮装置取替
18	29	富士見橋	○	○	H27	Ⅱ					○										11,000							伸縮装置取替
19	31	前田橋	○	○	H27	Ⅱ					○										8,000							伸縮装置取替
20	34	新富士見橋	○	○	H27	Ⅱ					○										16,000							伸縮装置取替
21	44	新田中橋	○	○	H27	Ⅱ					○										18,000							伸縮装置取替
22	45	田中橋	○	○	H27	Ⅰ					○										7,000							伸縮装置取替
23	46	境橋	○	○	H27	Ⅱ					○										10,000							伸縮装置取替
24	48	新関橋	○	○	H27	Ⅰ						○										7,000						伸縮装置取替
25	57	久保山歩道橋	○	○	H27	Ⅲ		○											3,000									ひびわれ・漏水・遊離石灰
26	59	谷開橋		○	H28	Ⅲ	○																					路面隙間、防護柵腐食、高さ不足　H29修繕実施
27	67	下犬目橋	○	○	H27	Ⅱ						○										13,000						伸縮装置取替
28	72	中犬目橋		○	H27	Ⅲ			○										3,000									鉄筋腐食　H29修繕予定
29	80	浅川大橋	○	○	H27	Ⅲ		○								○		22,000								43,800		ひびわれ・漏水・遊離石灰・支承腐食
30	82	月夜峯新橋	○	○	H27	Ⅱ						○										9,000						伸縮装置取替
31	83	開戸橋	○	○	H27	Ⅱ						○										7,000						伸縮装置取替
32	85	不動橋	○	○	H27	Ⅱ						○										7,000						伸縮装置取替
33	99	21-2号橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									防護柵高さ不足、地覆ツタの絡まり
34	101	稲荷橋	○	○	H27	Ⅱ						○										7,000						伸縮装置取替
35	104	出羽橋	○	○	H27	Ⅱ						○										17,000						伸縮装置取替
36	108	鶴巻橋	○	○	H27	Ⅱ						○										24,000						伸縮装置取替
37	109	横川橋	○	○	H27	Ⅱ							○										25,000					伸縮装置取替
38	121	岩の入橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									舗装土砂堆積、舗装の剥がれ、防護柵高さ不足、腐食、鉄筋露出
39	122	岩の入第二橋		○	H27	Ⅲ	○																					木製床版損傷　H29修繕実施
40	132	廿里橋	○	○	H27	Ⅱ						○										3,000						伸縮装置取替
41	133	白山橋	○	○	H27	Ⅲ			○										3,000									桁端部腐食
42	135	五月橋	○	○	H28	Ⅲ													3,000									舗装路面のひびわれ、防護柵腐食
43	139	洗心橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									防護柵高さ不足
44	141	とろろ橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									路面,隙間、高欄高さ不足、金具腐食
45	142	氷川橋		○	H28	Ⅲ		○	○									20,000	80,000									桁ほか劣化　H31～H32債務負担
46	162	陵南跨線橋	○		H29	Ⅲ				○										3,000								主桁、床版腐食
47	171	日南橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									防護柵高さ不足、腐食、地覆ひびわれ・漏水・遊離石灰
48	172	大塚橋	○	○	H26	Ⅲ																						上部ひび割れ、鉄器露出　H28伸縮装置取替
49	173	鹿島歩道橋	○	○	H27	Ⅱ						○										5,000						伸縮装置取替
50	178	小宮八石陸橋	○	○	H29	Ⅱ						○										39,000						伸縮装置取替
51	183	熊野橋	○	○	H27	Ⅱ							○										11,000					伸縮装置取替

NO	ピン番号	橋梁名	長寿命化対象	法定内	点検年度	総合判定	修繕工事											修繕費用										判定理由
							完了	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
52	191	稲荷橋	○	○	H27	Ⅱ							○										8,000					伸縮装置取替
53	196	松が谷歩道橋	○	○	H27	Ⅱ							○										4,000					伸縮装置取替
54	197	山根入歩道橋	○	○	H27	Ⅱ							○										7,000					伸縮装置取替
55	199	滝谷戸橋	○	○	H26	Ⅲ																						ボルト脱落、床版ひびわれ　H30修繕予定
56	200	堂根原歩道橋	○	○	H27	Ⅱ							○										7,000					伸縮装置取替
57	202	松木橋	○	○	H28	Ⅱ							○										14,000					伸縮装置取替
58	204	川幡橋	○	○	H27	Ⅱ							○										18,000					伸縮装置取替
59	206	内田橋	○	○	H27	Ⅱ							○										11,000					伸縮装置取替
60	207	おがんどう橋	○	○	H27	Ⅱ								○										11,000				伸縮装置取替
61	208	板橋	○	○	H27	Ⅱ								○										11,000				伸縮装置取替
62	217	森久保橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									地覆剥離、添架物腐食
63	223	板当橋	○	○	H26	Ⅲ		○										20,000										パラペットクラック、桁腐食　H31予算
64	224	佐戸橋	○	○	H26	Ⅱ								○										4,000				伸縮装置取替
65	225	川井野橋	○	○	H27	Ⅱ								○										7,000				伸縮装置取替
66	226	下川井野橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									主桁腐食、添架物腐食
67	231	十内入橋	○	○	H27	Ⅱ								○										6,000				伸縮装置取替
68	232	十内入橋歩道橋	○	○	H27	Ⅱ								○										3,000				伸縮装置取替
69	234	東釜の沢橋	○	○	H27	Ⅱ								○										2,000				再塗装
70	245	池の尻橋	○	○	H27	Ⅱ								○										8,000				伸縮装置取替
71	246	ㇷ切橋	○	○	H27	Ⅱ								○										8,000				伸縮装置取替
72	248	境橋	○	○	H27	Ⅱ								○										8,000				伸縮装置取替
73	249	神明橋	○	○	H27	Ⅱ								○										6,000				伸縮装置取替
74	252	日影橋	○	○	H27	Ⅱ								○										8,000				伸縮装置取替
75	256	柳沢池歩道橋	○	○	H27	Ⅰ								○										6,000				伸縮装置取替
76	259	柏原橋	○	○	H27	Ⅱ									○										22,000			伸縮装置取替
77	260	上柚木西歩道橋	○	○	H27	Ⅱ								○										4,000				伸縮装置取替
78	262	陵北大橋	○	○	H27	Ⅲ		○										22,000										桁腐食
79	265	鶴巻橋	○	○	H28	Ⅱ								○										8,000				伸縮装置取替
80	269	西野橋	○	○	H28	Ⅱ									○										8,000			伸縮装置取替
81	273	新鶴見橋	○	○	H28	Ⅱ									○										10,000			再塗装
82	275	下田橋	○	○	H29	Ⅱ											○										35,000	再塗装
83	281	山王橋	○	○	H29	Ⅲ				○										3,000								ひびわれ・漏水・遊離石灰、剥離、鉄筋露出、うき、異物混入、欠損
84	298	泉町団地東橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									主桁鉄筋露出
85	308	北大畑橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									下部工鉄筋露出
86	313	春日南橋	○	○	H26	Ⅱ																						
87	314	春日北橋	○	○	H26	Ⅱ											○										32,000	橋面防水、炭素繊維補強、伸縮装置取替
88	319	横倉橋	○	○	H29	Ⅲ				○										3,000								ひびわれ・漏水・遊離石灰、剥離、うき、滞水
89	322	弁天橋	○	○	H29	Ⅲ			○										3,000									ひびわれ・漏水・遊離石灰
90	354	新清水橋	○	○	H29	Ⅲ				○										3,000								ひびわれ・漏水・遊離石灰
91	369	無名9号橋		○	H29	Ⅲ				○										3,000								床版鉄筋露出
92	377	無名橋		○	H29	Ⅲ				○										3,000								鉄筋膨張、床版補修
93	383	小柳橋		○	H29	Ⅲ				○										3,000								主桁鉄筋露出、浮き、剥離、骨材露出
94	407	水元橋	○	○	H28	Ⅱ						○										3,000						橋台にひびわれ・漏水・遊離石灰、剥離
95	409	舟形橋	○	○	H29	Ⅲ				○										3,000								ひびわれ・漏水・遊離石灰
96	414	中郷歩道橋	○	○	H29	Ⅲ				○										3,000								地覆剥離・鉄筋露出、うき
97	417	見晴歩道橋	○	○	H27	Ⅱ							○										6,000					伸縮装置取替
98	424	南大沢であい橋	○	○	H26	Ⅱ									○										11,000			伸縮装置取替
99	434	栗瀬橋	○	○	H29	Ⅲ		○										22,000										ひびわれ・漏水・遊離石灰、鉄筋露出
100	437	瀬東橋		○	H26	Ⅱ									○										9,000			伸縮装置取替
101	440	東横山橋	○	○	H29	Ⅲ				○					○					3,000					24,000			ひびわれ・漏水・遊離石灰、鉄筋露出、漏水跡
102	442	長池見附橋	○	○	H29	Ⅲ		○										23,000										補剛材に腐食、鳥の糞害
103	443	ゆうやけ橋	○	○	H26	Ⅱ									○										5,000			伸縮装置取替
104	447	(仮)車石橋	○	○	H29	Ⅲ				○										3,000								ひびわれ・漏水・遊離石灰、鉄筋露出、漏水跡
105	460	北野横断橋	○	○	H26	Ⅱ									○										7,000			伸縮装置取替

NO	ピン番号	橋梁名	長寿命化対象	法定内	点検年度	総合判定	修繕工事											修繕費用										判定理由
							完了	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
106	470	新道橋	○	○	H30	Ⅱ							○										3,000					床版補修(部分)
107	471	番場橋	○	○	H30	Ⅱ							○										3,000					床版補修(部分)
108	473	学校橋		○	H30	Ⅲ					○										3,000							桁鉄筋露出、骨材露出、ひび割れ
109	474	9-4号橋		○	H28	Ⅲ			○										3,000									下部工ひび割れ、洗掘
110	492	(仮)めじろ台駅前ロータリーA橋	○	○	H27	Ⅲ	○																					伸縮装置損傷(めじろ橋と一括発注)
111	493	めじろ歩道橋	○		H28	Ⅲ													3,000	30,000								漏水・遊離石灰、防食機能の劣化
112	521	26-2号橋			H29	Ⅲ			○										3,000									主桁鉄筋露出
113	522	青葉橋			H30	Ⅲ					○										3,000							主桁、支承部鉄筋露出
114	527	蟹久保橋			H30	Ⅲ															3,000							伸縮装置取替
115	536	23-5号橋			H30	Ⅱ																						直営補修
116	554	13-5号橋			H29	Ⅲ				○										3,000								木橋
117	569	39-3号橋			H30	Ⅲ					○										3,000							木製床版端部腐食
118	574	下田橋			H30	Ⅲ		○										3,000										沓座モルタル補修、塗装塗替え
119	577	京王1号橋	○		H27	Ⅲ			○									3,000	30,000									桁、床版腐食
120	579	旭出橋	○		H27	Ⅱ								○										25,000				橋面防水、炭素繊維補強、伸縮装置取替
121	580	(仮)浅川大橋北カルバート橋	○	○	H28	Ⅲ			○										3,000									主桁鉄筋露出、遊離石灰
122	585	馬場谷戸橋	○		H30	Ⅲ					○										30,000							地覆鉄筋露出、橋脚鉄筋露出
123	592	京王5号橋	○		H27	Ⅲ			○									3,000	30,000									照明灯支柱腐食　H29修繕予定
124	610	風原橋			H30	Ⅲ															3,000							塗装塗替え、高欄補修
125	629	18-1号橋(宝珠寺橋)			H30	Ⅲ					○										3,000							橋台洗掘
126	647	風返歩道橋			H30	Ⅱ							○										3,000					断面修復
127	651	グリーンヒル寺田第2歩道橋	○	○	H30	Ⅲ		○										3,000										断面修復
128	652	グリーンヒル寺田第3歩道橋	○	○	H30	Ⅲ		○										3,000										断面修復
129	704	(仮)めじろ台駅前ロータリーB橋	○	○	H27	Ⅲ	○																					伸縮装置損傷(めじろ橋と一括発注)
130	721	富士見町の橋			H30	Ⅲ															3,000							塗装塗替え、断面修復
131	99027	にし原橋			H29	Ⅲ				○										3,000								木製床版腐食
132	99044	99044番橋		○	H29	Ⅲ				○										3,000								ひびわれ・漏水・遊離石灰
133	99062	99062番橋			H28	Ⅲ				○										3,000								床版部破損、腐食
134	99127	99127番橋			H30	Ⅲ					○										3,000							桁、地覆が剥離、腐食
135	99141	99141番橋			H30	Ⅲ					○										3,000							主桁鉄筋露出、腐食
136	99152	99152番橋			H28	Ⅲ				○										3,000								下部工前面玉石積膨れ
137	99174	99174番橋			H30	Ⅲ					○										3,000							桁豆板
138	99248	妙ヶ沢橋		○	H30	Ⅲ					○										3,000							主桁鉄筋露出、橋台洗掘
139	99255	99255番橋			H29	Ⅲ				○										3,000								床版腐食、下部工洗掘
140	99280	99280番橋			H29	Ⅲ				○										3,000								木製主桁腐食
141	99282	99282番橋			H29	Ⅳ																						木材腐食　通行止め後撤去予定(H撤去予定)
142	99325	紅葉東橋		○	H30	Ⅲ					○										3,000							桁剥離・鉄筋露出、遊離石灰
143	99355	99355番橋			H28	Ⅲ				○										3,000								木製床版破損、下部工一部破損
144	99526	99526番橋			H28	Ⅲ				○										3,000								主桁部ひび割れ
145	99544	99544番橋			H28	Ⅲ				○										3,000								主桁部鉄筋露出
146	99981	市立大和田小学校歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
147	99982	市立第十小学校歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
148	99983	市立老人ホーム歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
149	99984	市立第五中学校歩道橋	○		H30	Ⅱ							○										3,000					当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
150	99985	市立第一小学校歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
151	99986	市立第二小学校歩道橋	○		H30	Ⅱ										○											3,000	当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
152	99987	市立横川小学校歩道橋	○		H30	Ⅰ					○					○											3,000	当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
153	99988	市立第四小学校歩道橋(1)	○		H30	Ⅱ										○											3,000	当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
154	99989	市立第四小学校歩道橋(2)	○		H30	Ⅱ										○											3,000	当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
155	99990	市立長房小学校歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
156	99991	八王子市長房町歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
157	99993	市立散田小学校歩道橋	○		H30	Ⅱ										○											3,000	当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
158	99994	市立横山中学校歩道橋	○		H30	Ⅲ																3,000						当板補修・塗装塗替え・排水管取替え
159	H3	H3番橋		○	H30	Ⅲ					○										3,000							桁鉄筋露出及び錆,剥落、橋台豆板

NO	ピン番号	橋梁名	長寿命化対象	法定内	点検年度	総合判定	修繕工事											修繕費用										判定理由
							完了	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
160	L18-1	無名20号橋		○	H30	Ⅲ					○										3,000							桁コンクリート剥離
161	L14-1	14-1号橋			H28	E1																						H30撤去済み
162	316	常盤橋	○	○	H29	Ⅱ									○										6,000			伸縮装置取替
163	453	時田大橋	○	○	H30	Ⅱ									○										5,000			伸縮装置取替
164	408	谷戸山橋	○	○	H29	Ⅰ										○										10,400		伸縮装置取替
165	367	長沼陸橋	○	○	H29	Ⅱ									○										15,200			伸縮装置取替
166	99545	柳沢橋	○	○	H30	Ⅱ										○										14,000		伸縮装置取替
167	346	原屋敷橋	○	○	H29	Ⅱ										○										5,000		伸縮装置取替
168	99395	戸吹橋	○	○	H30	Ⅱ										○										6,000		伸縮装置取替
169	99508	中丸橋	○	○	H30	Ⅱ										○										11,000		伸縮装置取替
170	386	下の川橋	○	○	H29	Ⅱ										○										4,000		伸縮装置取替
171	389	新川橋	○	○	H29	Ⅱ										○										6,000		伸縮装置取替
172	292	片井戸新橋	○	○	H29	Ⅱ										○										9,000		伸縮装置取替
173	467	洗馬川橋	○	○	H30	Ⅱ										○										6,000		伸縮装置取替
174	33	佐森橋	○	○	H27	Ⅱ										○										9,000		伸縮装置取替
175	441	別所橋	○	○	H29	Ⅰ											○										11,000	伸縮装置取替
176	481	浜街道陸橋	○	○	H30	Ⅱ											○										16,000	伸縮装置取替
177	491	椚橋	○	○	H30	Ⅱ											○										20,000	伸縮装置取替
178	430	美紙橋	○	○	H29	Ⅰ											○										6,000	伸縮装置取替
179	347	仲田橋	○	○	H29	Ⅰ											○										8,000	伸縮装置取替
180	455	東橋	○	○	H30	Ⅱ											○										6,000	伸縮装置取替
181	475	御殿橋	○	○	H30	Ⅱ											○										8,000	伸縮装置取替
182	476	嫁入橋	○	○	H30	Ⅱ											○										9,000	伸縮装置取替
183	99052	99052番橋			H30	Ⅲ						○															3,000	橋台基礎洗堀
184	193	下小比企橋	○	○	H30	Ⅲ		○										20,000										支承部ボルト脱落
																												H30実績より部分補修　3,000千円／橋
		計																167,000	194,000	220,000	160,000	162,000	123,000	125,000	122,200	124,200	169,000	
		2順目点検結果による想定修繕費用																					30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
		補強工事																153,000	69,000	15,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	40,000	
		詳細設計																	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		定期点検																99,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
		合計																419,000	373,000	345,000	355,000	357,000	348,000	350,000	347,200	349,200	349,000	